

当病院で活動されているドクターに、各専門分野での取り組みや、医療への想いを語っていただきます。

vol.19

外科 診療部長

岩間 正浩<sup>いわま まさひろ</sup>先生

専門：外科 得意分野：消化器外科



—先生は青森市のご出身とうかがいました。これまでのご経歴をお話いただけますか？

生まれは八戸市ですが父親が転勤族でしたので、全国を転勤したあと小6から高校卒業まで青森市ですごしました。青森高校出身です。青森高校が古い校舎の時代で、校内が土足で楽だったり…懐かしいですね。大学は栃木県の自治医科大学に進み、その後青森県に戻ってきました。

—自治医科大学は卒業後「地域医療従事期間」があるそうですね。

自治医科大学は地域医療の確保向上を図るため全国都道府県が共同で創設した大学で、その成り立ちもあり、卒業後9年間は出身都道府県内で働かなくてはいけないという決まりがあります。私もその間は、県大間町、小泊村などに勤務し、県内の小さな町村での医療に取り組みました。ちなみに東通村や六ヶ所村などでも自治医大チームが結構頑張っています。

—十和田市に住んでみて、どんな印象をお持ちですか？

十和田はすごくきれいな街というのが本当に正直なところですよ。病院の前の官庁街通りもとてもきれいですよね。道も、どこに行っても広く、北海道みたいな計画都市ですよ。非常に良い街だなと思いました。

—市内でよく行く場所がありますか？

よく行くお店はヤマヨです。ご当地スーパーのヤマヨ、非常に好きです。安くて肉も魚も色々ありますよね。以前野辺地病院に勤めていましたが、その頃は野辺地にもヤマヨがあり通っていました。ヤマヨ通かもしれません。

—お医者さんになるきっかけは何でしょうか？また、外科医を志した理由なども教えてください。

感動的な話は無いですが、最初のきっかけは漫画の「ブラック・ジャック」です。以前のドクターインタビューで同じ外科の竹浪先生も話されていましたが（Doctor Interview vol.10 参照）、今いる外科の医者は「ブラック・ジャック」が好きな人が結構多くて「ブラック・ジャック」ネタが出ればみんな話を通じると思います（笑）。そういう何となくの思いがあったのと、研修医になり色々な診療科を回る中で、入院中の短期間に、手術でがんがちゃんと取れて良くなって帰っていく患者さんを診ることができるという、長いスパンでゆっくり良くしていく内科とはちょっと違う感覚が好きだなと感じたことも大きいと思います。

—外科医としてやりがいを感じる場所はありますか？

手術をして、直後は痛みなどもありますが、そこから回復して…という経過で、患者さんが元気になっていくのが非常に嬉しいです。

—最近、研究されていることや勉強されていることは何でしょうか？

当院に来てから災害医療について勉強しています。去年、藪内先生から誘われて、DMAT（災害派遣医療チーム）隊員の資格も取りました。藪内先生のチームは2024年1月1日に発災した能登半島地震の北陸支援に行っていましたが、実際何かあったときは先生と協力して一緒に災害医療にも関わっていきたいと思っています。

—先生の得意分野はなんですか？

当院の外科は、皆すべての領域をやっていますし、自分としても何でも診たいというのがありますが、特に今年は内視鏡を積極的に頑張りたいです。口や肛門から挿入する内視鏡は内科が担当するものですが、9年間の自治医科大学の義務年限中は内科医として町村を回っていたので基本的には何でもOKです!!

—休日はどんなふうに過ごしていますか？

家族が八戸市に住んでいますので平日は単身赴任、休日は八戸市に戻って過ごすという生活スタイルです。子どもたちは大きくなったので、もはや遊んでくれません（笑）。犬がいるので、犬の散歩に行ったりするのがリフレッシュですね。フレンチブルドッグの3才の女の子で名前は「はな」です。しつけは全然うまくいってなくて、自由に引っ張られながら散歩しています。犬に癒されています。

—学生時代に打ち込んだことはありますか？

高校時代は柔道、大学ではラグビーをやっていました。卒業してからは全く運動していないので超不健康ですね（笑）。



——リフレッシュできる趣味や、凝っていること、特技などありますか。

以前はキャンプしたり、釣りに行ったりしていました。去年から子供たちが中学と高校に入り、送り迎えなどで忙しくなったのであまり行けなかったです。野辺地勤務の頃は陸奥湾内で船に乗って鯛釣りや、東通村にサクラマスを釣りに行っていました。キャンプは宇樽部ですね。あそこはきれいで一番好きなキャンプ場です。カヌー体験もやったことがあります。ドライブも好きで昔から奥入瀬渓流を走るのが好きです。毎年2~3回走っていました。あの道は大好きですね。そのうちバイパスが出来て自家用車が通れなくなると聞いたので、行けるうちに行っておきたいですね。そろそろ行こう（笑）。

——食事の仕事のパワーの源と思いますが、好きな食べ物、嫌いな食べ物を教えてください。

嫌いなものは無いです。肉も魚も好きですが、肉の方が好きですね。あと、ラーメンが大好きですね。土日はなにかとラーメンを食べ歩いています。八戸市だと「らーめん寺子屋」のとんこつ醤油とか、「きくや」「麺山」…などなど。家系、次郎系、にぼし…各種ラーメンは好きなので、その日の気分に合わせて食べ歩いています。どうしても塩分摂取量が多くなって次の日むくんだりするので気を付けないと、と思っていますがついスープまで飲んじゃいますね。

——最後に市民の皆さんへメッセージをお願いいたします。

僕らはがんに関わる患者さんをよく診ますが、がん検診を受けていない方が比較的進行した状態になってから病院に来るということがすごく多い印象です。県内全般に多い傾向です。手術だけでほぼ治療が済むような早期がんの患者さんが、一般的な国内のほかの地域の平均より絶対的に少ない気がします。皆さんに「がん検診を受けていますか？」と聞くと「全く何ともないから」とおっしゃいます。がんは本当に症状が出たときにはだいぶ進行しているので、全く症状が無い時にこそ検診を受けてほしいです。無症状でも異常がないかどうかを調べるのが検診です。また、「年だから」とおっしゃる方もよくいますが、今は元気な70代80代も多いので、ちょっと進行してしまっても、色々考えて治療を検討していくことも十分出来ます。50代、60代は当然ですが、皆さんぜひ積極的にがん検診を受けるようにして欲しいと思います。

(2024年5月インタビュー)



所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内科学会

資格情報等：日本外科学会 外科専門医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本内科学会 認定内科医、難病指定医、医師臨床研修指導医養成講習会受講済、緩和ケア研修会修了